東根市立神町中学校　校長だより　　　＜本校「前期生徒会」リーダーたちへの期待＞

行雲流水

No.２８　令和３年４月１９日発行

自治活動の「任務」を命ずる

校長　寒河江　正人

本日（１６日）、前期生徒会の**リーダー**を「**任命**」した。

「**任命**」とは、校長が「**その任務を命ずる。**」ということ。

「**生徒会**」とは、「**学校生活が、より良い状態になるため**」に、「**生徒が自ら主体的に課題を把握**」して、「**その課題を解決するため**」に、「**自治的な活動を推進する組織**」である。

本校の校訓「**自由（Freedom）**」「**英知（Wisdom）**」「**友愛（Friendship）**」の下において、「**目指す生徒像**」に掲げてある人材の育成が、本校の教育活動の「**目的**」である。

その具現化に向けた「**任務**」を命じられたのだということを忘れてはならない。
「**リーダーの任命**」は、「**その任務のスタートライン**」である。
選挙演説で述べた「**公約**」が「**口先だけ**」にならぬよう、自分に「**一票**」を投じてくれた「**フォロアー（全校生徒）の期待と信託**」に応える「**任務のスタートライン**」なのである。

「**学校という社会**」は、「**生き物の集合体**」である。
毎日、「**どこかで**」「**誰かに**」「**何か**」が起きていて不思議はない。
４７１名の生徒一人ひとりの「**思い**」や「**考え**」は、実に**多種多様**なのである。

例えば、生徒会長が「**神町中は「より良い交友関係」を成し遂げる**」ことを目指すなら、そのために、「**知恵**」を絞って、「**具体的なビジョン・戦略**」を示すことが求められる。
その際には、周囲の生徒会役員に、**意見**を求めてみるのも欠かせぬ良い方法だ。

リーダーが「**ビジョン**」「**戦略**」を掲げたら、**フォロアー**である全校生徒は、納得するまで「**意見・質問**」をすれば良い。「**生徒総会**」は、そのためにある。**無関心**は「**無責任**」だ。
その上で、**慎重かつ前向きに分析・検討**して、「**修正・改善**」が必要な場合もあるだろう。
ただし、決まったのならば、不平不満を言わず、**全員一致団結・実行**しなければならない。

それが、生徒会の「**生徒自身が主体的に運営する**」の「**自治活動**」というものである。